

科目名	教育心理学 [Educational Psychology]				
区分	教職科目	選択必修		単位数	1
対象学科等		対象年次	1～4	開講時期	1 学期
授業形態				時間割番号	V0217
責任教員	三浦 巧也 [MIURA Takuya] (工学部)				
研究室		メールアドレス			
概要					
<p>本授業では、心身の発達の過程を背景にして、人間の知的活動に対する学習・認知心理学の考え方を知り、自身の知的活動のあり方を再考していく。また、教育心理学は心理学の知見を教育の実践場面に応用するだけでなく、教育の実践をもとに学びについての新たな理論を構築していく学問でもある。本授業では、理論と実践場面での問題や指導のあり方と結びつけて学んでいく。学生らには、自分の経験を捉えなおし、どのように教育実践を行なっていくべきかを考える積極的な姿勢が必要である。授業の後半では、学生らが主体的に実践的知識を習得することを目的として彼らに協同学習を展開させ、児童生徒の発達段階や学習の過程を考慮した教育実践のあり方を学び合う機会を設ける次第である。</p>					
到達基準					
<p>児童生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。</p>					
授業内容					
<p>第1回:現代の教育心理学／心身の発達と学習の概念及び理論に着目して 第2回:発達とは／運動・言語・認知・社会性の発達に着目して 第3回:学習とは／動機づけ・自己調整学習・学習評価に着目して 第4回:主体的な学習とは／授業観の重要性、集団形成の発達の特徵に着目して 第5回:グループディスカッション①(主体的な学習活動における授業観を考える) 第6回:グループディスカッション②(自尊感情を育てる集団づくりを考える) 第7回:第5回・6回を踏まえたワールドカフェ方式による協同学習 (主体的な学びが形成される教育実践に関する発表) 第8回:第1回～7回に関するまとめ及び、定期試験</p>					
履修条件・関連項目					
テキスト・教科書					
参考書					
<p>下山晴彦編(1998)教育心理学Ⅱ、東京大学出版会、市川伸一(1995)学習と教育の心理学、岩波書店、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、生徒指導提要</p>					
成績評価の方法					
<p>平常点評価(40%)授業での積極的な発言、グループディスカッション等での発言など積極性を評価する。定期試験評価(60%)。オンライン教育における成績評価方法は、すべての出席を前提としています。評価の割合は以下の通りです。毎回の小レポートを含む平常点 30%、課題 20%および課題レポート 50%で評価します。</p>					
教員からの一言					
キーワード					
オフィスアワー					
備考1					
備考2					
参照URL					